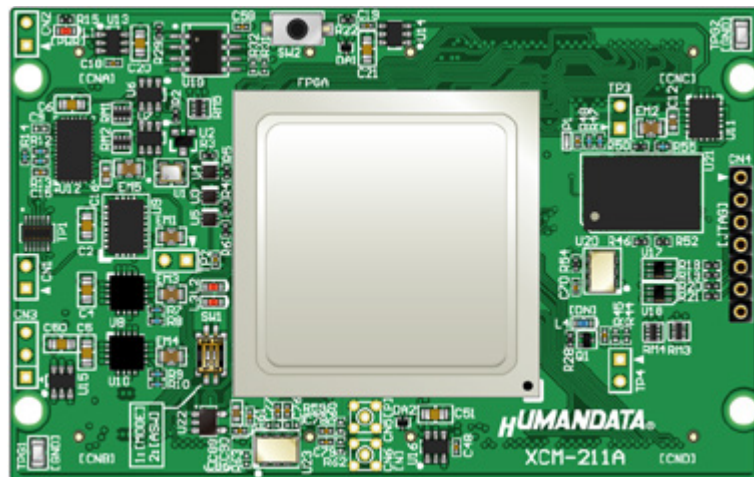


Artix-7 FFG1156 FPGA ボード
XCM-211-200T
ユーザーズマニュアル
Ver. 1.0



ヒューマンデータ

目次


● はじめに.....	1
● ご注意.....	1
● 改訂記録.....	1
1. 共通ピンについて 【重要】	2
2. 製品の内容について.....	3
3. 開発環境.....	3
4. 仕様.....	4
5. 製品説明.....	5
5.1. 各部名称.....	5
5.2. ブロック図.....	6
5.3. 電源.....	7
5.4. ユーザI/O.....	7
5.5. クロック	7
5.6. 汎用LED, 汎用SW.....	7
5.7. デバッグI/F.....	7
5.8. RocketIO (高速シリアルI/F).....	7
5.9. 設定スイッチ.....	8
6. FPGAコンフィギュレーション.....	8
6.1. JTAG/バウンダリスキャン.....	9
6.2. コンフィグROMファイルの作成.....	9
6.3. コンフィグROMアクセス.....	10
7. サポートページ.....	12
8. お問い合わせについて.....	12


● はじめに

この度は Artix-7 FPGA ボード XCM-211-200T をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます
 ございます。

XCM-211-200T は、XILINX の高性能 FPGA Artix-7 シリーズを用いた FPGA ボードで、電源回
 路、クロック回路、コンフィギュレーション回路などを装備した、使いやすいボードになって
 います。どうぞご活用ください。

● ご注意

 禁止	1 本製品には、民生用の一般電子部品が使用されています。 宇宙、航空、医療、原子力等、各種安全装置など人命、事故にかかわる 特別な品質、信頼性が要求される用途でのご使用はご遠慮ください。
	2 水中、高湿度の場所での使用はご遠慮ください。
	3 腐食性ガス、可燃性ガス等引火性のガスのあるところでの 使用はご遠慮ください。
	4 基板表面に他の金属が接触した状態で電源を入れしないでください。
	5 定格を越える電圧を加えないでください。

 注意	6 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、 ご了承願います。
	7 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一誤りなど、お気 づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
	8 本製品の運用の結果につきましては、7. 項にかかわらず当社は責任を負 いかねますので、ご了承願います。
	9 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載され ていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。
	10 本書および、回路図、サンプル回路などを無断で複製、引用、配布するこ とはお断りいたします。
	11 発煙や発火、異常な発熱があった場合はすぐに電源を切ってください。
	12 ノイズの多い環境での動作は保障しかねますのでご了承願います。
	13 静電気にご注意ください。

● 改訂記録

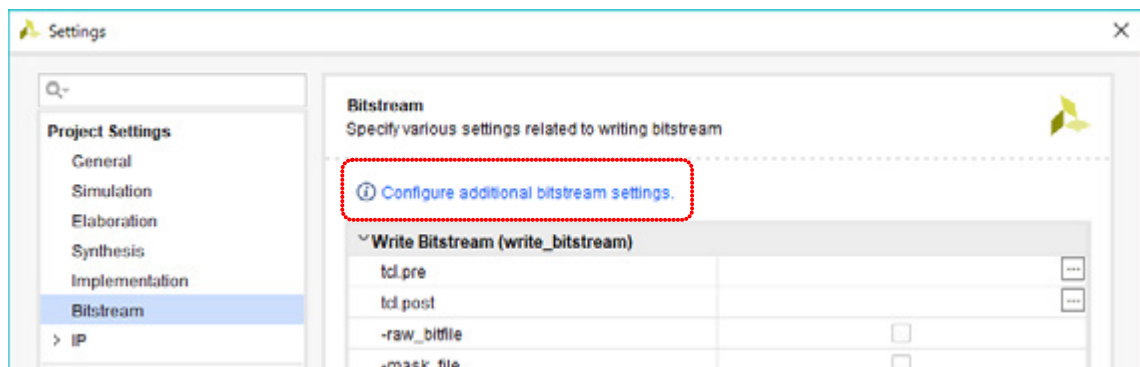
日付	バージョン	改訂内容
2018/06/07	1.0	・初版発行

1. 共通ピンについて **【重要】**

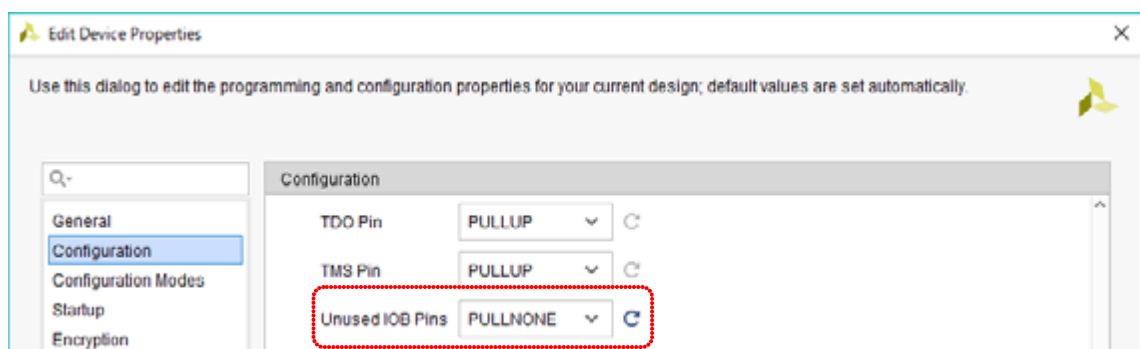
本ボードでは、下表のピンが共通になっています。
 意図しないショートを避けるため、未使用ピンの設定を【PULLNONE】としておくことを推奨します。未使用ピン処理設定の確認は下記をご参照ください。

ネットラベル	VREFB	VREFC	VREFD	VDDR_REF
FPGA ピン	G32	AK10	J10	AA7
	H24	AK25	L3	Y6
	P25	AL3	N6	
	R32	AM32	R7	

1. 【Implementation Design】を開いた状態で【Tools - Settings】を開きます
2. 【Bitstream】を開き【Configure additional bitstream settings.】をクリックします



3. 【Configuration】を開き【Unused IOB Pins】を変更します



2. 製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら弊社宛にご連絡ください。

FPGA ボード XCM-211-200T	1
付属品	1
ユーザ登録はがき	1 (オーダー毎に各 1 部の場合があります)

3. 開発環境

FPGAの内部回路設計には、回路図エディタやHDL入力ツール、論理合成ツール等が必要です。開発ツールの選択はユーザ様で行っていただくようお願いいたします。当社では開発ツールについてのサポートと搭載デバイスそのもののサポートは一切行っておりません。

本マニュアルは、マニュアル作成時に当社で使用している開発ツールを元に作成しています。

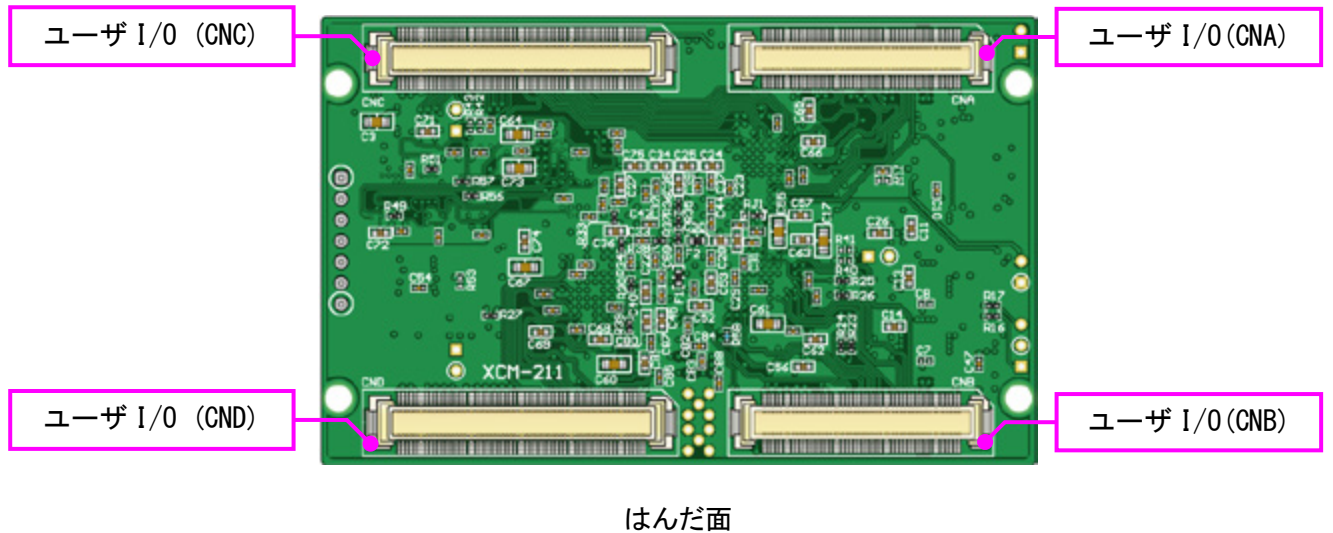
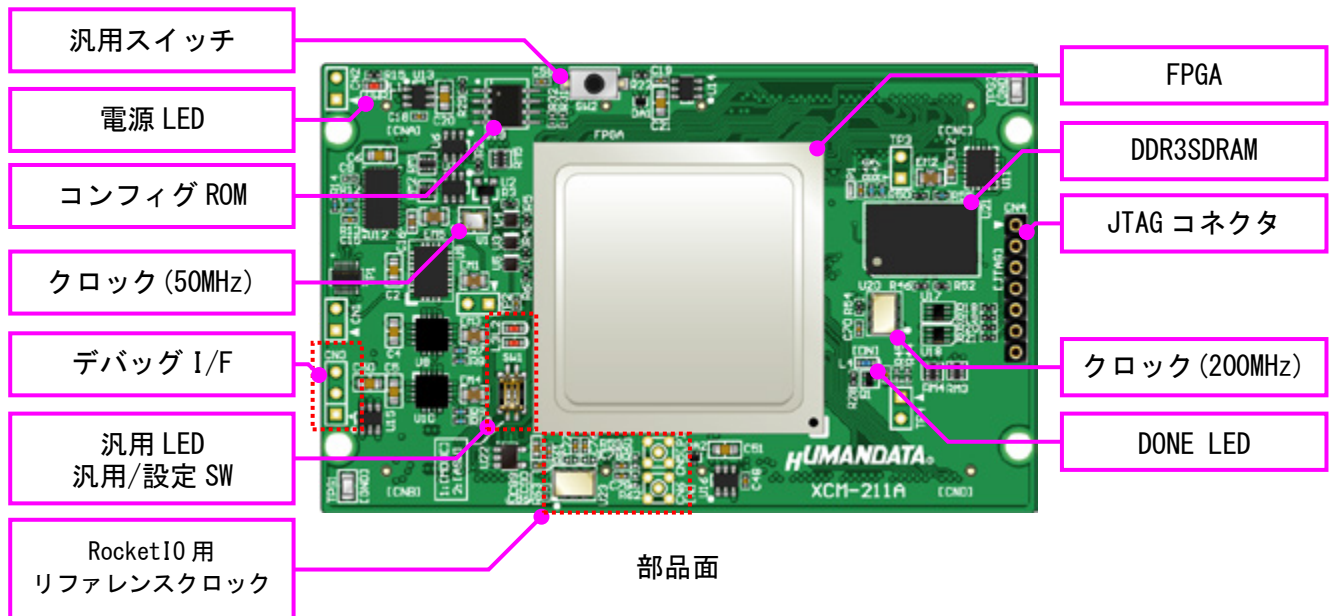
4. 仕様

製品型番	XCM-211-200T
搭載 FPGA	XC7A200T-1FFG1156C
電源	DC 3.3[V]
ユーザ I/O	296 本
コンフィグ ROM	MT25QL128ABA1ESE-0SIT (Micron, 128Mbit)
DDR3SDRAM	MT41K64M16TW-107 (Micron, 1Gbit: 8Mbit x16 x8 banks)
オンボードクロック	50MHz (LVTTTL), 200MHz (LVDS), 外部入力可能
RocketIO (高速シリアル I/F)	Tx : 2 チャンネル Rx : 2 チャンネル
RocketIO 用 リファレンスクロック	125MHz (LVDS)、外部入力可能 (MMCX)
汎用スイッチ	2 (Push x1, DIP x1bit)
汎用 LED	2
I/O コネクタ	FX10A-80P/8-SV1 x2 FX10A-100P/10-SV1 x2 (ヒロセ電機)
プリント基板	ガラスエポキシ 10 層基板 1.6t
リセット信号	コンフィグ用リセット信号 (typ. 240ms)
JTAG コネクタ	SIL7 ピンソケット 2.54mm ピッチ
ステータス LED	POWER (赤), DONE (青)
基板寸法	54 x 86 [mm]
質量	約 43 [g]
付属品	SIL7 ロングピンヘッダ x1 FX10A-80S/8-SV x2 FX10A-100S/10-SV x2 (ヒロセ電機) スペーサ x4
消費電流	ユーザの FPGA デザインに依存します

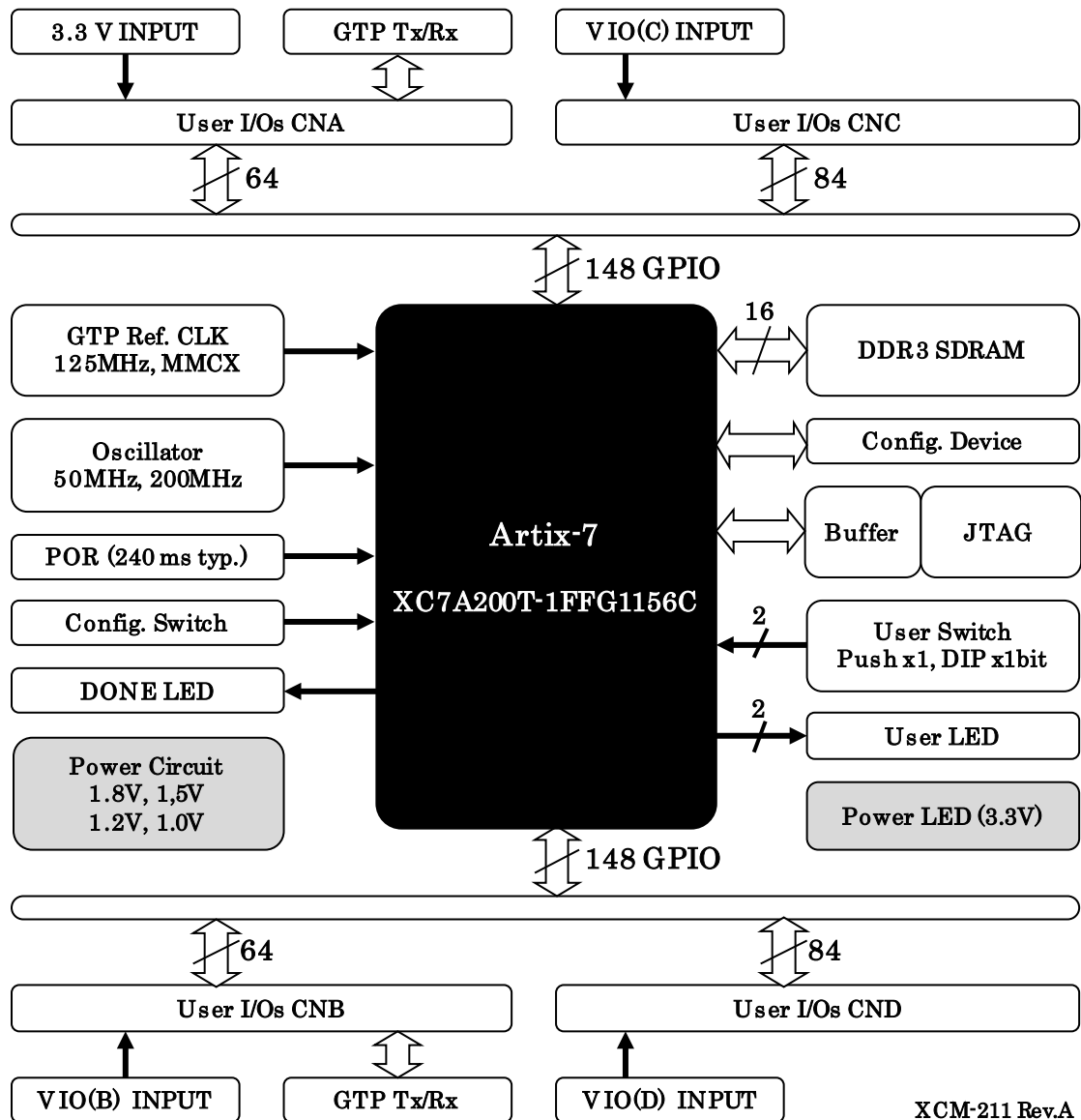
*これらの部品や仕様は変更となる場合がございます

5. 製品説明

5.1. 各部名称



5.2. ブロック図



XCM-211 Rev.A

5.3. 電源

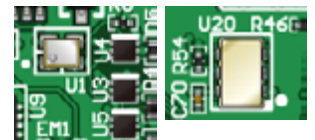
電源は CNA より 3.3V を供給してください。内部で必要になる電源はオンボードレギュレータにより生成されます。外部から供給する 3.3V 電源は充分安定して、充分な余裕のあるものをご用意ください。いずれも 3.3V を超えることはできません。

5.4. ユーザ I/O

CNA に接続された I/O (IOA) の電源はオンボード 3.3V に固定されています。
 CNB, CNC, CND に接続された I/O (IOB, IOC, IOD) の電源はそれぞれのコネクタから供給することが可能です。未接続にはできません。
 ピン割付、配線長についてはサポートページより「ピン割付表」を参照してください。

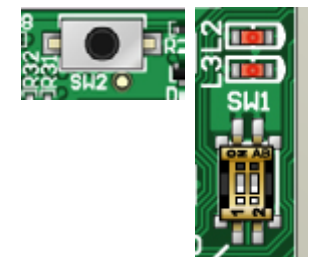
5.5. クロック

オンボードクロックとして 50MHz (U1) と 200MHz (U20) を搭載しています。各コネクタより外部クロックを入力することも可能です。



5.6. 汎用 LED, 汎用 SW

汎用 LED (L2, L3) を Low 出力で点灯させる事が出来ます。
 汎用プッシュスイッチ (SW2) はプルアップされていますので、ボタン押し込みにより Low 信号を FPGA に入力できます。
 汎用 DIP スイッチ (SW1 [2]) はプルアップされていますので、ON 設定により Low 信号を FPGA に入力できます。



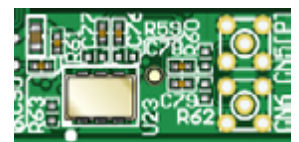
5.7. デバッグ I/F

3 ピン I/F (CN3) を汎用用途にご使用頂けます。直列抵抗を介して FPGA に接続されています。



5.8. RocketIO (高速シリアル I/F)

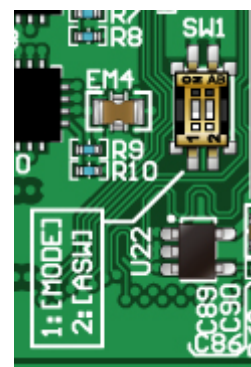
CNA/CNB コネクタに TX/RX 各 2ch (合計 4Ch) が引き出されています。リファレンスクロックとして 125MHz が搭載されています。MMCX コネクタを取り付けることで外部クロックを使用することができます。



5.9. 設定スイッチ

設定スイッチ (SW1) によりコンフィギュレーションモードを変更することが可能です。

番号	1	2
記号	MODE	ASW
説明	コンフィギュレーション モード設定	汎用



コンフィギュレーションモード	SM1 [1]
Master Serial/SPI	ON
JTAG (Slave Serial)	OFF

6. FPGA コンフィギュレーション

JTAG コネクタ (CN4) よりバウンダリスキャンを行い、FPGA へのコンフィギュレーションやコンフィグ ROM のアクセスを行います。

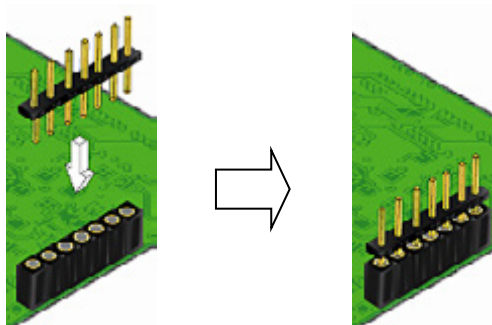
コンフィグ ROM から FPGA へのコンフィギュレーションは、電源投入時に自動的に行われます。十分に検査した安全性のあるデータを書き込むようにしてください。

JTAG コネクタのピン配置は次表のとおりです。ケーブル接続時は誤接続に注意してください。

ピン番号	信号	方向
1	GND	I/O
2	TCK	IN
3	TDO	OUT
4	TMS	IN
5	VCC	OUT
6	TDI	IN
7	GND	I/O



ダウンロードケーブルとの接続には付属のロングピンヘッダをご使用下さい。



使用例

6.1. JTAG/バウンダリスキャン

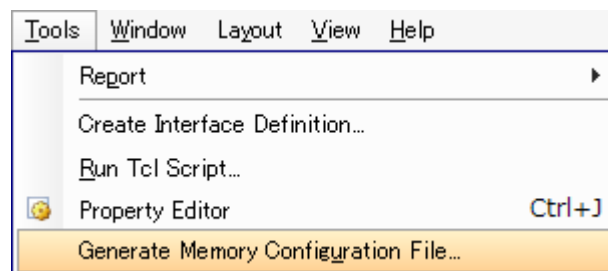
FPGA を直接コンフィギュレーションするには、バウンダリスキャンにより認識されたデバイスに bit ファイルを割りつけてプログラムを実行します。コンフィグ ROM を使用したコンフィギュレーションには次節をご参照ください。

Name	Status
localhost (1)	Connected
xilinx_tcf/Digilent/2102498110...	Open
xc7a200t_0 (2)	Not programmed
XADC (System Monitor)	
mt25ql128-spi-x1_x2_x4	

6.2. コンフィグ ROM ファイルの作成

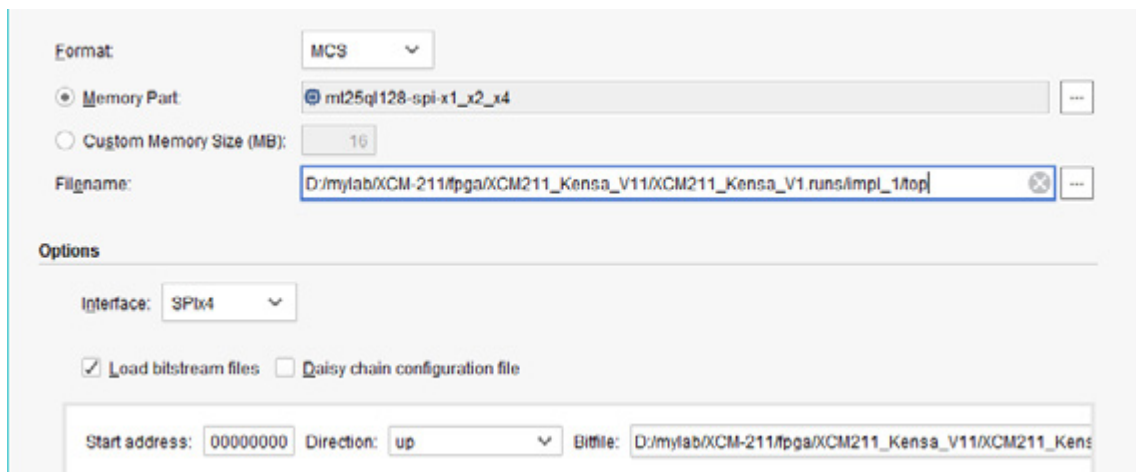
コンフィギュレーション ROM へ書き込むためには MCS ファイルが必要となります。作成方法の一例を以下に示します。

(1) Hardware Manager にて【Tools - Generate Memory Configuration File】をクリックします



(2) 設定画面にて必要な項目を設定します

- Memory Part: mt25ql128-spi-x1_x2_x4
- Filename: 作成する MCS ファイル名
- Interface: 任意
- Bitfile: 変換する Bitstream ファイル

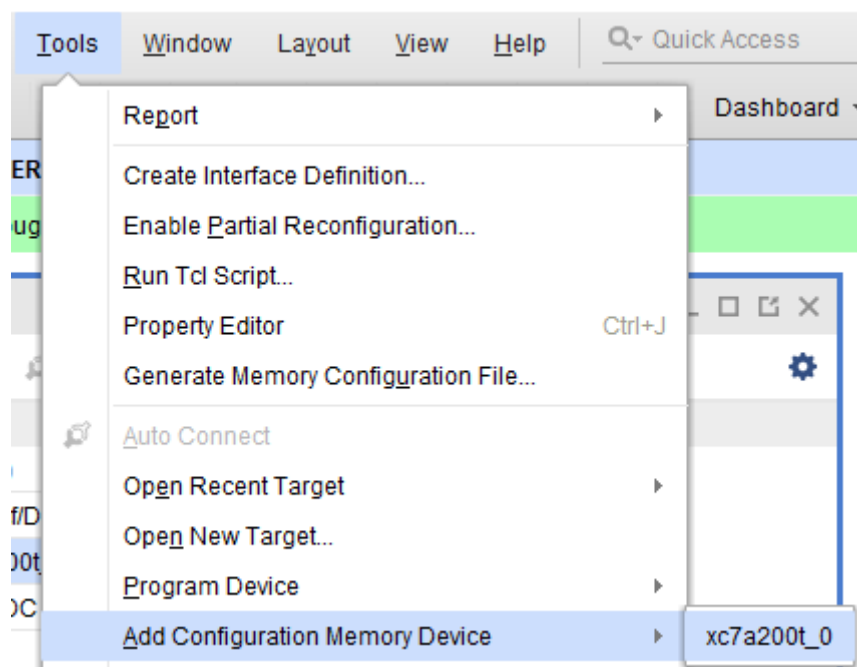


(3) OK をクリックします

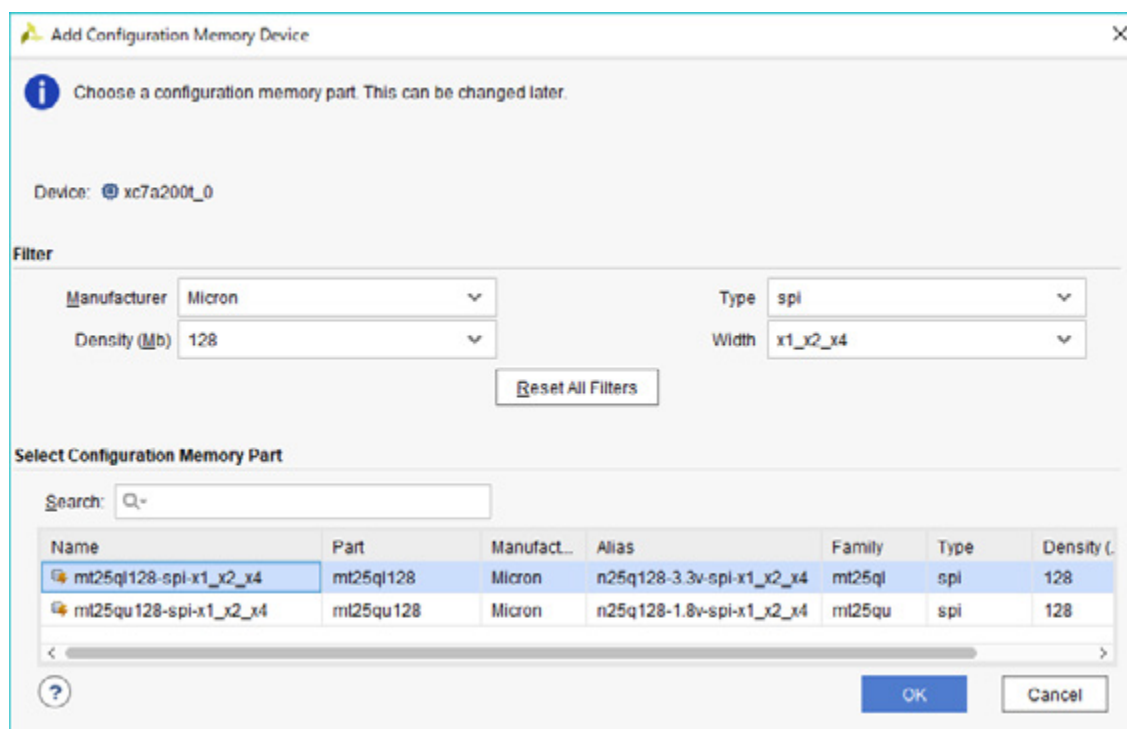
6.3. コンフィグ ROM アクセス

アクセスを行うには認識しているデバイスに対してコンフィグ ROM を追加します。

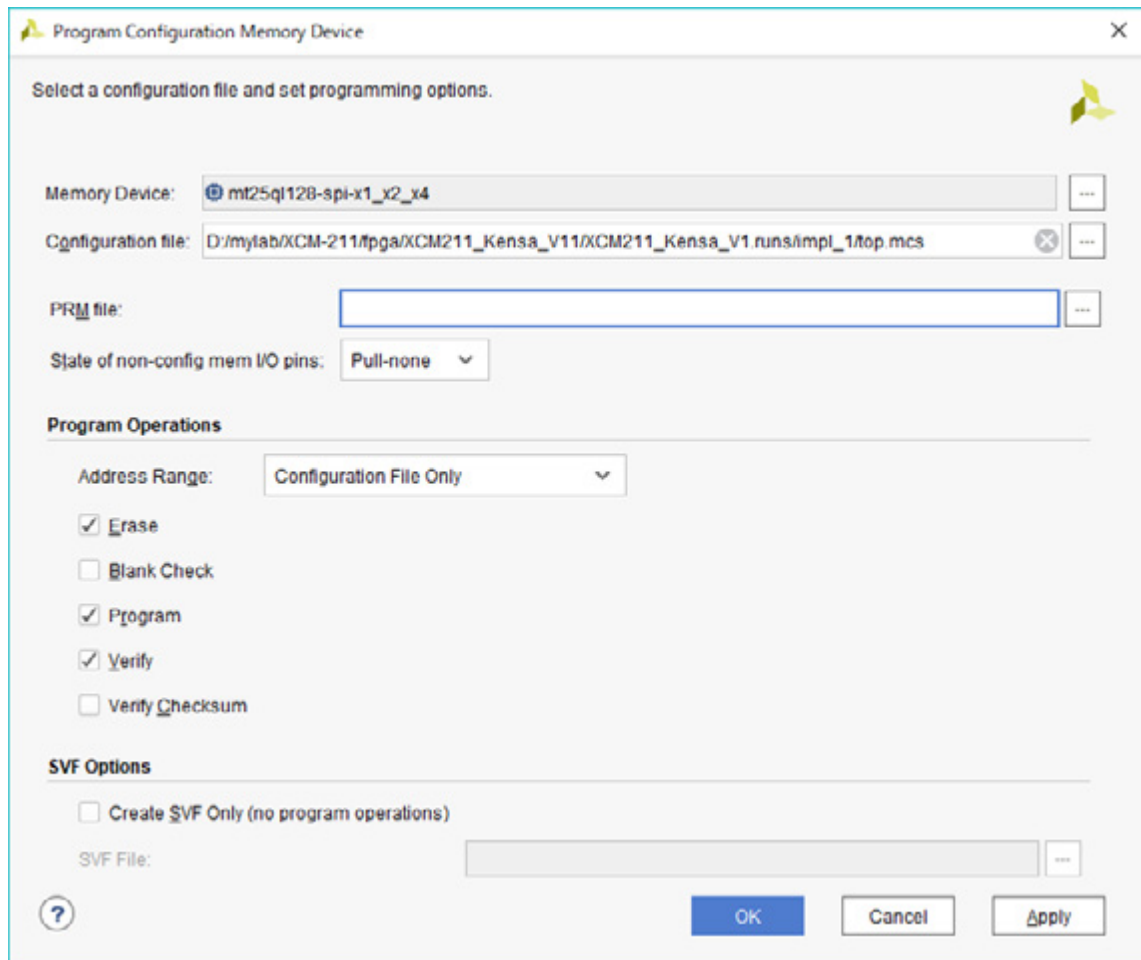
(1) 【Tools - Add Configuration Memory Device】 から認識中のデバイスを選択します



(2) デバイスは【mt25ql128-spi-x1_x2_x4】を選択します



(3) MCS ファイルと実行するコマンドを選択し【OK】をクリックします



7. サポートページ

改訂資料やその他参考資料は、必要に応じて各製品の資料ページに公開致します。

<http://www.hdl.co.jp/ftpdata/xcm-211/index.html>
http://www.hdl.co.jp/support_c.html

- 回路図
- ピン割付表
- 外形図
- ネットリスト ...等

また下記サポートページも合わせてご活用ください。

<http://www3.hdl.co.jp/spc/>

8. お問い合わせについて

お問い合わせ時は、製品型番とシリアル番号を添えて下さるようお願い致します。

e-mail の場合は、SPC2@hdl.co.jp へご連絡ください。

または、当社ホームページに設置のお問い合わせフォームからお問い合わせください。

技術的な内容にお電話でご対応するのは困難な場合がございます。可能な限りメールなどをご利用くださるようご協力をお願いいたします。

おことわり

当社では、開発ツールの使用方法や FPGA などのデバイスそのものについて、サポート外とさせていただきます。あらかじめご了承下さいませ。

Artix-7 FFG1156 FPGA ボード
XCM-211-200T
ユーザーズマニュアル

2018/06/07 Ver.1.0

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034
大阪府茨木市中穂積1-2-10
ジブラルタ生命茨木ビル
TEL : 072-620-2002
FAX : 072-620-2003
URL : <http://www.hdl.co.jp/> (JP)
<https://www2.hdl.co.jp/en/> (Global)
